

令和4（2022）年度 第1回学校運営評議会 議事録

1. 日 時 令和4（2022）年6月8日（水） 14時30分～16時20分

2. 場 所 栃木県那須高等学校 会議室

3. 出席者 委員10名、栃木県教育委員会事務局5名、本校職員12名
オブザーバー、報道関係者

4. 司 会 本校教頭

5. 次 第

（1）開会

（2）学校長挨拶

（3）栃木県教育委員会挨拶

（4）委員紹介・出席者 （資料p1・2参照）

（5）会則の確認 （資料p16参照）

（6）会長及び副会長選任

事務局より、岡田委員を会長、鬼澤委員を副会長に務めていただくことを提案し、
全員の承認を得た。

（7）議事 （下記6. のとおり）

（8）その他 （下記7. のとおり）

（9）閉会

6. 議事

① 学校運営に関する基本方針の説明・承認 ： 資料p3参照

〔校長〕高校でのコミュニティスクールは、現代の生活様式において希薄化している
伝承・道徳・倫理などの生活の知恵を地域全体で復活させて、地域の子
供をみんなで育てるという役割がある。

そのために、子供たちが求めている部分を考えたうえで、生徒が協働して
コミュニケーションを高める環境づくりをコーディネーターと教師が協
力して推進していくことが必要である。

本年度は、去年の「躍動」から「躍進」へと一歩進んだ運営が必要であり、
生徒一人一人が目標を持ち、那須高校の魅力を伝えられる方策を委員の
皆様から意見をいただきたい。

→ 承認

質疑・応答

〔委員〕子供の成長を感じたのは、「意見を自分から言えること」と「自信を持て
たと話していたこと」である。また、高校で魅力を感じたものは地域学習
と答えてくれたのもとてもうれしい。

〔委員〕以前に比べて、子供たちが大きく変わった。人口減で存続させるためには、町が生徒を育てる必要があり、町などの継続的な施策が必要。

〔委員〕現代は地域との関係性が希薄になっている。学校は楽しいところという学校づくりが必要である。また那須高校の特例校の認知度を上げて、存続するために町の支援・盛り上げることも必要である。

② 学校概況報告 : 資料 p 4 ~ 1 1 参照

1) 令和 3 年度卒業生進路について

- ・就職と進学 of 比率は 7 : 3 で、就職は地元志向が強く、黒磯職安管内の企業が多い。
- ・進学は 4 年制大学が 3 名いた。奈良大学に進学した生徒は自身で進学先を調べて目標をもって進学した。那須高校で進学する生徒を増やしたい。

2) 出身中学校一覧

- ・那須町や那須塩原方面から入学する生徒の数は安定している。
- ・例年に比べ、本年度の白河方面からの生徒が 1 名と少ない。
→ 魅力を上げて生徒増加を図る

3) 令和 3 年度行事について

予定していた行事は概ね実施できた。今年度はブラッシュアップして改善を図る。

4) 総合的な探究の時間について

- ・「地元×友達プロジェクト」は公民館や各種団体・協議会の協力もあり、活動は実施できたが、受け入れ先との時間調整や昼食の確保などの問題が発生した。今後は公民館との人脈を生かしたい。
- ・「職業人インタビュー」は那須町にどのような職業があるのかを学ぶ貴重な機会となる。
- ・「那須まち人物図鑑」は那須町で活躍する方々から話を聞き、冊子にまとめる活動を通して、那須町の魅力を発信できた。今年度も活動を予定している。どのように魅力をさらに発信するかが課題となる。

5) 令和 3 年度各種表彰および検定試験合格状況

- ・部活動ではバドミントンや剣道において北部大会で優秀な成績を収めた。専門で指導できる若手教員が多いが、生徒数の状況から部員があまり集まらないという課題が残る。
- ・資格関連は、商業系の資格取得に向けた教員の支援や生徒たちのやる気が相まっての成果があった。

質疑・応答

〔委員〕昨年12月に実施された出前授業において、卒業生の学校説明は身近な先輩のため好意的であった。本日の授業見学で生徒も元気に登校してよかった。

〔委員〕昨年在籍していた特別支援の子も元気に楽しく登校できている。部活動は学校の魅力になる。

〔会長〕・高校における部活動の地域への移行は、部活動指導員や金銭的な問題があり、受け皿の整備が必要である。高校の魅力の1つとして部活動に取り組んでほしい。

・特別支援の生徒の対応など親身な学校は本当にありがたい。

〔校長〕（4年制大学の状況を受けて）いち早く地元を支えるためには就職であるが、大学から行ってからの地元を支える必要がある。

〔副会長〕進学先の日本ウェルネス大学は、ゴルフも進学先でも有名であり、多様な進学方法が必要である。

〔校長〕進学希望者への那須町の奨学金制度を充実させて欲しい。

〔副会長〕那須町には、貸与型で月3万の無利子・一時金選択可能な奨学金がある。どの市町村での同条件であるため、奨学金係を中心とした情報提供が必要である。

〔委員〕那須町が全面バックアップする奨学金を導入してほしい。

〔会長〕那須高校に那須町は協力的であり、奨学金制度を含め、那須に居残ってもらう政策を模索して、協議してほしい。

③ 今年度の取組予定 資料p12～15参照

1) 令和4年度行事予定表

・感染状況に応じてではあるが、予定通り実施予定。

2) 令和4年度「未来を創る高校生地域連携・共同推進事業について」

・県指定の最終年度で年度末に発表を控えている。

・最終目標は、生徒が自分たちで何ができるのかを考えることである。

・総合的な探究の時間の構成は、1学年で「那須を見る、知る」ための体験学習の重視。2学年で「那須を深める」ための「那須まち人物図鑑」の作成。3学年で「那須を切り拓く」ためにSDGsの視点を取り入れた那須町の課題解決の模索を計画・実施予定。

・本年度1学年の9/21に実施する体験学習において、交通の手段やその費用が厳しいため、対応を願いたい。

→ 那須町と個別に対応する。

- ・町の広報誌で1ページ分、那須高校の魅力化発信のための情報を掲載可能になったが、町民が那須高校の活動をどのように思っているかが知りたい。

質疑・応答

〔コーディネーター〕町の広報誌の掲載が継続的に実施されるようにしていきたい。

〔コーディネーター〕「那須まち人物図鑑」完成後、「高校生が作成した感じが薄い」との意見があり、本年度は高校生と一緒に紙面を作成したことが伝わるデザインを考えていきたい。

〔委員〕学びなおしできることが那須高校の最大の魅力である。中学時で勉強ができない子に対しても大学進学の可能性があるのでないか。わかりやすい説明・授業も展開できているため、より主張すべき。

〔委員〕・生き生きと生徒が授業に参加できている

- ・地域の慣習は地域で学ぶべきで、体験を通じて学び、自信がつくような教育活動を推進してほしい。

(6) その他

- ・次回の協議会について

9/21（水）実施予定で、2年生の人物インタビューの授業風景の見学後実施